

TOKYO SEITOKU

January. 2025

NOW

vol.
57

東京成徳学園の“今”を発信する広報誌

特集

人と社会の元気づくりに貢献できる人材を目指して

CROSS TALK 教員×卒業生

学びを深化する、研究の力

TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2024

学園祭 REPORT



TOKYO SEITOKU

つながる学び、ひろがる未来。

学校法人 東京成徳学園





TOKYO SEITOKU NOW

創立100周年とそれから



東京成徳学園 理事長
木内 秀樹

本学園は今年創立99年目となりました。そして来年には創立100周年という節目を迎えます。

1. 創立者と「建学の精神」

創立者の菅澤重雄は、私の母方の曾祖父にあたりますが、亡くなったのは私が幼稚園生の頃でした。千葉の自宅から東京に出て来た時に共に過ごしたことを覚えています。明治生まれの人らしい謹厳実直な人柄でした。

重雄は、国の殖産興業政策の時代に銀行や鉄道の設立に携わるとともに、千葉県選出の衆議院議員・貴族院議員を歴任し国政に参画しました。その活動の中で、国の要は子女の教育にあるとの信念に基づき、学校の設立に関わったものです。

学園の建学の精神は『成徳』（有徳の子女育成）です。創立者が青年期に漢学を学ぶ中で、若者の教育に最も重要なものとして、徳育を学校の建学の精神として掲げたものです。

その後、第3代理事長の木内四郎兵衛が、建学の精神を教育現場でより指導しやすく具体的な文言として表したのが「5つの教育目標」です。それは、「おおらかな徳操／高い知性／健全なる身体／勤労の精神／実行の勇

気」であり、徳知体に社会貢献とチャレンジ精神を加えたものと考えられます。卒業生の方々は、教室の黒板の上に額に入った5つの教育目標が掲げられていたことを記憶されているのではないのでしょうか。

この「おおらかな徳操」については、なぜ「おおらか」と付け加えたのか直接聞いたことがあります。それは、徳の要素である正義を振りかざすと妥協余地のないかたくなな態度になりがちですが、そこには「おおらかさ」という情の部分を持つことが大切なのだ、ということでした。厳しい中にも情に厚い人柄の理事長らしい考え方だと納得したものです。

そして創立90周年に「東京成徳ビジョン100」が策定され、学園の人材育成ビジョンとして「『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成」という目標が掲げられました。

「成徳」という不易の部分に「グローバル人材」という流行の考え方を加えて、これからの時代の人材教育の方向性を示したものになったと思います。「東京成徳ビジョン100」は創立100周年に向け、学園として各所属校の目指す姿とそのための重点目標・施策などを示したもので、現在その達成に向けて努めているところです。

2. これまでの学園の歩み

創立の地は、現在学園本部と中高一貫部がある北区豊島の地です。当初は女子校であったものが、大学の開学を機に所属各校全てが共学化されました。



2024年学園祭の様子 [右上]東京成徳大学深谷高等学校
[左]東京成徳大学・東京成徳短期大学のスタッフ集合写真 [右下]東京成徳大学高等学校

大学開学当時、東京23区内に新設を認めないという規制があったため、1993年千葉県八千代市に人文学部3学科でスタートし、現在では4学部5学科を擁するまでになりました。そして、2022年に全ての学部が東京都北区の十条に移転し、3万5千坪の八千代キャンパスはスポーツ施設として活用されています。

人材育成ビジョンでグローバル人材の育成を掲げていることもあり、各所属校でICT教育や留学について力を入れているところです。そのひとつとして、中高一貫部は、アメリカのアップル社がグローバル教育への取り組みを評価した学校に与えるADS(Apple Distinguished School)の認定校となっています。ADSの認定校は世界中で500校程度ありますが、日本では首都圏の中高で3校しか認定を受けられていない価値あるものです。

3. 今後について

急速に進む高度情報化の中で、教育の手法や内容が大きく変化していくことが予想されます。したがって、そうしたことを踏まえて100周年後のビジョン策定に早急に取り組む必要があります。策定にあたっては、次の項目を意識して進めたいと考えています。

- (1)『成徳』の精神を持つグローバル人材の育成の実現
- (2)生徒・学生がそれぞれの目標を持ち、自己実現のためにチャレンジするプログラムの策定

TOKYO SEITOKU

NOW

「TOKYO SEITOKU NOW」は
1年に2回、東京成徳学園の情報を
お届けする総合広報誌です。

01 巻頭言

03 特集1

人と社会の元気づくりに
貢献できる人材を目指して

07 特集2

CROSS TALK 教員×卒業生
学びを深化する、研究の力

09 TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2024 学園祭REPORT

13 TOPICS

- 13 国際学部／子ども学部／経営学部
- 14 応用心理学部／大学院
- 15 短期大学／中学・高等学校
- 16 深谷中学・高等学校／幼稚園

17 ひと『活躍する卒業生』

習志野市役所 健康福祉部
生活相談課 主任主事
金子 琢哉さん

19 クラブ活動報告

20 Student's Voice

21 学園の動き／NEWS

22 先生に聞く。

学園創立100周年記念事業
ブランド・ステートメント

23 お問い合わせ先

学園後援会のご案内
読者アンケートのお願い



TOKYO SEITOKU

学園のシンボル・マーク

イエローは「活力」と「勇気」を表し、3本の柱は学生・生徒・園児、教職員、同窓生を象徴しています。ブルーは「理想」と「若さ」を表し、5本の柱は5つの教育目標を象徴しています。そして、8本の柱が一体となり、東京成徳学園とその学園に集う人々のヒューマニティーを作り上げる姿を表現しています。

“ 特集 1 人と社会の元気づくりに貢献できる人材を目指して ”



浅井 優我さん

応用心理学部
健康・スポーツ心理学科 2年

青木 愛結さん

応用心理学部
健康・スポーツ心理学科 2年

出雲 輝彦先生

応用心理学部
健康・スポーツ心理学科長/教授
日本体育・スポーツ政策学会 理事長

人生100年時代といわれ、健康への意識が高まっている昨今、『ウェルネス (Wellness)』というキーワードや概念が国際的にも広がりを見せています。

今回は、運動や健康の領域にとどまらず、あらゆる分野で取り入れられている「ウェルネス」も学ぶことのできる日本でも数少ない学科、「応用心理学部 健康・スポーツ心理学科」の学びを取り上げます。学科長である出雲輝彦先生と学生2名が、授業内容や目指せる将来についてじっくりお話してくれました。

——健康・スポーツ心理学科は、心理学の視点から健康・スポーツを学ぶ、他ではあまり見ない、特色ある学科です。どのような学生が多いのでしょうか？

出雲 心理学に興味がある学生から、高校時代に運動部に所属しインターハイの出場経験がある学生まで、幅広く在籍しています。講義に加えて身体を動かす活動系の授業も取り入れてお

り、その中では全員が運動やゲームなどを交え、楽しみながら学んでいます。青木 学科全体が、元気で明るい雰囲気です。私は心理学を学びたいと思っていたことと、高齢者福祉や健康増進に関わりたいたと考えていたことがきっかけで入学しました。

浅井 僕は大学で何を専攻しようか悩んでいたのですが、スポーツのことにすると真剣に取り組める性格であるこ

とや、メンタル面の学びにも関心があったので、自分に合っている学科だと感じて志望しました。

——他大学では、スポーツ指導やスポーツビジネスの人材育成の観点からスポーツ科学系の学科を設置しているところも多いですが、そういった学科とは異なりますね。

出雲 その通りで、現在日本には800以上の大学があり※、そのうちの約16%の大学にスポーツ科学系の学部・学科が存在します。多くは体育教員・スポーツ指導者など既存のスポーツを指導する人材養成、さらにはアスリート育成の色合いが濃いことが特徴でしょう。そのため、それらの大学※令和6年度学校基本調査では813大学

では保健体育の教員免許取得に必要な実技科目としてスポーツがカリキュラムに配置されています。ただ、4年間を通じて心理学の観点から健康・スポーツについて体験的・理論的に学び、さらにウェルネスまで学べる大学は本学の健康・スポーツ心理学科のみで、日本で唯一の学科といえます。

浅井 僕自身も運動部に所属していたのは高校までで、大学では部活に入っていないですし、趣味やサークルで身体を動かせたらいいと思う程度です。そんな学生も多いと思います。

青木 私も同じです。小学校から高校までは部活でバスケットボールをしていましたが、将来の進路とは切り分けています。いろいろな大学を比較しましたが、心理学に加え、ウェルネスの学びも紹介していたのは健康・スポーツ心理学科だけだったので、そこから興味を持ちました。

出雲 超高齢社会を迎えている日本においては、従来型のスポーツ指導者よりも、軽運動・都市型身体活動・アダプテッドスポーツなどを指導できる人材が求められています。本学科ではそのような身体活動経験や、自他の健康増進を図るうえで必要な知識・スキル・支援方法などを指導しています。

——改めて、健康・スポーツ心理学科が考える「ウェルネス」とは、どのようなものなのでしょうか。

出雲 昨今、「ウェルネス」という言葉を多くの場面で見聞きしていると思います。世界的な健康志向の高まりで国際的な産業としても確立しており、日本でも“○○ウェルネス”という言葉が幅広い分野で用いられています。とはいえ、“健康”や“ヘルス”といった言葉の置き換えとして使われることも多く、その本来の意味が正しく理解されているわけではありません。

“Wellness”という言葉自体はすでに1650年代に存在しており、今日の多くの分野で用いられる「ウェルネス」



出雲先生の「ウェルネス論」では、ウェルネスの概念やその変遷をはじめとして、支援方法や国内外での取り組み事例なども幅広く学修します。



グループワークも取り入れながら、健康心理アセスメントやカウンセリングなどの「健康心理学」の基礎理論を身に付けます。

心理学を取り入れたコーチングの知識・技能やアプローチ方法を、アクティブラーニングや実技を通して学ぶ「コーチング論」。

は1950年代後半のハルバート・ダン博士の提唱がきっかけとなっています。

「健康(ヘルス)」の言葉では捉えることができない新たな健康概念として、ダン博士がもともと存在していたウェルネスという言葉に意味付けしたことがきっかけとなり、現代の「ウェルネス」につながります。

「ヘルス」は状態を示しますが、その度合いや程度までは表すことができません。そこで、ヘルスより幅広い概念として「ウェルネス」を提唱したわけです。ヘルスがとどまった状態を表すのに対して、ウェルネスはよりよい方向への変化が伴う動的なものとされています。“状態”ではなく“プロセス”であると考えれば、分かりやすいのではないのでしょうか。

浅井 1年次の「ウェルネス論」では、まずウェルネスの概念を学んでからウェルネス産業について調べました。企業の取り組み事例や経済的な影響も知ることができ、広範でとても興味深い分野だと感じました。

青木 ウェルネス産業のまとめをした際、「この企業もウェルネスに取り組んでいるんだ」という発見の連続でしたし、さまざまな事業や仕事があること

を知り、視野が広がりました。

出雲 健康・スポーツ心理学科での学びは、単にウェルネスそのものについて知るだけではありません。ウェルネスは、学科の学びの3本柱である「健康心理学」「スポーツ心理学」「ポジティブ心理学」を束ね、さらには各科目の縦横のつながりを明確にする役割を持ちます。ウェルネスを正しく理解し実践できる人材の育成・輩出に加え、将来的なキャリアに生かすための方向性を示す。それもまた健康・スポーツ心理学科でウェルネスを学ぶことの意義だと思います。

——学生のお二人が好きな授業や、興味深く取り組んでいる科目はありますか？

浅井 ポジティブ心理学領域は、ポジティブ心理学やトレーニング論、健康栄養学など、とても実践的で、学びの面白さはもちろん、自分でも実践できるところが魅力です。自分自身のメンタルが整ったり、対人コミュニケーションが円滑になった実感があります。

青木 そうですね。健康をさまざまな面から考えていく過程が、自分自身の健康や心の成長にもつながることを実感





しています。

浅井 「生涯スポーツ」の授業は、まず生涯にわたってスポーツと関わっていくことの意義を講義で学び、そのうえでスポーツを安全に実施するために得た知識を実践する学外実習へ。自分たちは長野県のスキー場で3泊4日のスノースポーツ実習を行いました。友達と一緒にスキーやスノーボードをして、仲を深めることができました。

青木 スノースポーツ実習は本当に楽しかったです。ウィンタースポーツが生涯スポーツだと考えたことがなかったのですが、現地では想像以上に幅広い年代の方々が楽しまれていて、とても勉強になりました。

浅井 講義だけでなく、各種スポーツやトレーニングなど、身体を動かす授業があるのも健康・スポーツ心理学科ならではのと思います。

青木 あとは健康心理学領域のアダプテッドスポーツです。アダプテッドスポーツは、障がい者や高齢者なども参

加できるように既存のスポーツをアレンジして、一人ひとりの発達状況や身体の状態に適応(adapt)させたスポーツ全般のこと。概論を学んだ後、グループに分かれてみんなが平等にプレーできる新たなスポーツを考案します。私と浅井くんは同じグループで、ポッチャ※から広げた新スポーツを提案したよね。

浅井 フラフープやフリスビーを使ったり、どのグループも運動をする方の身体の状態に合わせてルールや道具を工夫していて、とても面白かったです。

出雲 地域社会のウェルネス向上や健康の増進、アスリートのパフォーマンス向上を目指す際には、心と身体の間を深く理解することも必要ですから、各種スポーツやゲーム、トレーニングといったことも授業に取り入れています。こういった学びを通じて、学生には「人と社会の元気づくりに貢献できる専門家」となってほしいと考えています。

※ポッチャ：パラリンピックの正式種目。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツ。

——健康・スポーツ心理学科の卒業生は、こういった分野で活躍されているのでしょうか？

出雲 公務員・一般企業を問わず、心身の健康づくり支援、子どもたちへのメンタル面に配慮したスポーツ指導、アスリートへのメンタルサポート、地域福祉や地域社会の安心・安全などに関わるような活躍に期待をしています。ウェルネス要素を盛り込んだ不動産開発、スポーツ関連のメーカーや小売業、サービス業などでも活躍していますし、大学院に進学してメンタルトレーナーや臨床心理士を目指している方もいます。

青木 とても幅広いんですね。

出雲 健康・スポーツ心理学科では、4年間の学びを通じて、健康心理士、認定心理士、児童指導員、スポーツインストラクター、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者など、心理やスポーツに関するさまざまな資格取得を目指すことができます。また、ウェルネス産業は現在およびこれからの成長産業のひとつでもあり、卒業生の活躍の場は広範囲にわたります。

浅井 東京成徳大学の学びに、ウェルネスを取り入れたきっかけや背景が知りたいです。

出雲 本学はもともと千葉県八千代市にキャンパスがあり、広大な敷地内にある野球場やグラウンドを活用した学びを展開していました。2020年に現在の東京都北区にキャンパスを移転したことをきっかけに、カリキュラム

生涯スポーツ(学外実習)



「生涯スポーツ」の授業では、学外での集中授業として長野県戸隠スキー場にて「スノースポーツ実習」を実施。技術の習得に加え、雪上でのケガや事故防止についても学びました。



を郊外型から都市型にリニューアルする必要がありました。従来のスポーツ分野だけではなく軽運動・都市型身体活動の導入や、さらに超高齢社会に対応した健康支援を探究していく中で、たどり着いたのがウェルネスの概念です。学科の学びの3領域である「健康心理学」「スポーツ心理学」「ポジティブ心理学」の軸としてウェルネスの概念が結び付いたことで、より多様な職業やライフスタイルで「人と社会のウェルネス向上に貢献する」という学生の育成像を明確に示すことができるようになりました。多くの学生が関心を持って取り組む生涯スポーツやアダプテッドスポーツなどの授業も、ウェルネスの概念が加わったことで、より意義のある学びになっています。

——これから3年次に進級されるお二人は、これまでの特色ある学びを経て、今後どのようなキャリアビジョンを描いていますか？

浅井 今は来年度のインターンシップへの参加に向けて、学内の説明会に出席して情報収集をしています。将来的にはウェルネス関連の一般企業で活躍できたらいいと考えています。あと、メンタルトレーニング論の授業で

障がい者が活動する中で不自由を実体験しながら、誰もが共に楽しめる新しいスポーツを考案します。実技のほかにもさまざまな課題でディスカッションを行い、スポーツという視点を通して障がい者支援についての理解を深めます。

学んだ知識を、自分にも他者にも生かしていきたいと思っています。

青木 私はもともと公務員を志望していました。ただ、授業で調べたウェルネス産業の中に魅力的に感じる企業もたくさんあり、興味深いと思っています。将来についてじっくり考えていきたいですし、3・4年次からは卒業研究に向けたゼミも始まるので、その準備にも取り組んでいきたいです。

出雲 健康・スポーツに関する心理学的研究テーマは多岐にわたりますが、「なぜ選手のパフォーマンスが向上したのか」「なぜチームが優勝できたのか」などの問いに対する答えを、リーダーシップ、モラル(士気)、モチベーション、メンタル、コンディショニングなどの視点から解明するのも面白いですし、その他にも環境や地域についてなど…目の前の出来事を心理学的に捉えて、さまざまなアプローチから考えられるのも、健康・スポーツ心

理学科の学びならではの魅力です。

浅井 4年次に控えている卒業研究の作成に少し不安もありますが、興味のある健康・スポーツや心理学の分野を通じて取り組んでいけるのは強みだなと思います。やっぱり好きなことを学び、知見を深めていくことができるのは楽しいですね。

出雲 どんな学生でも、日々のさまざまな授業に追われる中で漫然と授業を受けてしまったり、将来とのつながりを見失ってしまうこともあるかもしれません。ただ、「健康・スポーツ心理学科」で学んでいることは「人と社会の元気づくり」や「人と社会のウェルネス向上」に役立つものです。そこを意識すると充実した学びや学生生活につながると思います。3年次からは地域課題解決プロジェクトなど地域社会と密接に関わる授業もスタートするため、そういった意義をより強く感じることができますよ。



トレーニングやコンディショニングの基本を学び、実技を通してスポーツの現場での実践方法を身に付けます。

pick up !

健康・スポーツ心理学科

その他にも!さまざまな“実体験”を通じた学び

「ウェルネス・ボランティア」(2年次)

東京都、千葉県などの近隣地域で健康・スポーツ・教育・福祉に関するボランティア(実習)に参加します。近年は千葉県障害者スポーツ大会でのバスケットボール競技の運営、マラソン大会のサポート、地域のスポーツクラブでの「運動が苦手な子の教室」「チャレンジスポーツ教室」などで、多くの学生がボランティア体験をしています。



青木さんも参加!

「人の役に立つ」というやりがいを感じることができたのはもちろんのこと、気付いたら参加選手を応援したくなるほど競技としての魅力を感じられて、参加して本当に良かったです。

「ウェルネス・プロジェクトⅡ」(3年次)

本学が所在する東京都北区の地域課題を探索し、その解決の一助となるプロジェクトをグループで企画します。学生たちが自ら地域の関係者・団体にアポイントを取り、実際に地域社会とコミュニケーションを図りながら、地域課題解決を目指したプロジェクトを実行します。



2024年度は子どもセンターで子どもの遊び相手をする「公共施設を救済しに行こう!プロジェクト」、地域の環境美化・保全を目的とした「happy park! プロジェクト」、「十条付近のゴミ拾い&衛生意識向上プロジェクト」、「北区役所Instagram開設提案プロジェクト」を実施しました。

“学びを深化す

関谷 大輝先生

東京成徳大学 応用心理学部
健康・スポーツ心理学科 准教授

早稲田大学卒、筑波大学人間総合科学研究科生涯発達科学専攻博士後期課程修了。横浜市役所へ入庁し、公務員として勤務するかたわら大学院に進学。横浜市職員(社会福祉職)を経て、2013年より現職。博士(カウンセリング科学)、社会福祉士、精神保健福祉士、公認心理師。著書に『あなたの仕事、感情労働ですよね?』など。

教員

応用心理学部 健康・スポーツ心理学科では1・2年次の授業からさまざまなテーマに関する調査や発表に取り組み、卒業研究へ向けて基礎力を養っています。学生の中には、自身が行き組んだ卒業研究の成果について、早ければ4年次のうちに学会での発表に挑戦する者もいます。2024年には3名の卒業生が自身の研究成果を学会で発表し、このうち1名は若手優秀発表賞を受賞しました。(詳細は8ページのNEWSをご覧ください) 大学での学びを研究活動につなげ、自身が設定したテーマを深く追究していくことは、学生たちにどのようなものをもたらすのでしょうか。2年連続で学会発表を行った卒業生の嶋本文菜さん、学生の研究発表をサポートする関谷大輝准教授に話を伺いました。

— 2024年6月に卒業生3名が日本感情心理学会で卒業研究を発表されました。ポスター発表を行った嶋本さんの研究内容を教えてください。

嶋本 私は『感情労働※に「ご不満」なときは役割から距離をおこう 一見過ごされてきた表層演技の一側面が及ぼす効果と影響—』というテーマで発表しました。

関谷 仕事上の役割と自己を意図的に切り離し、距離を置こうとする認知的な努力を“表層演技”と位置付けた研究は稀有で、非常に興味深く有意義な発表になったと思います。

嶋本 関谷先生にもご協力いただき、いくつかの調査やさまざまな分析を実施して、表層演技に伴う仕事のパフォーマンスの悪化を抑制できる可能性を見いだすことができました。

※感情労働:「肉体労働」「頭脳労働」に加えて、感情を使って働くという「感情労働」の概念が近年注目されている。

— 学会発表の会場はどのような雰囲気でしたか?

関谷 日本感情心理学会は比較的小規模でアットホームではあるものの、著名な先生も含めて気鋭の研究者が数多く参加する活発な学会大会でもあります。実は学会発表は原則大学院生以上限定している学会も多く、学部生の発表を認めている学会というのは限られています。日本感情心理学会はそういう意味でもオープンで貴重な場ですが、一方でコンパクトだからこそ自分の研究が会場にいる多くの先生方の目に留まりやすいともいえます。実際、嶋本さんの発表にも人が途切れず、質疑に答え続けている状況でしたね。

嶋本 研究者の方々から一対一で質問をいただき恐縮でしたが、興味関心を持ってくださり「開発した心理尺度を今後ぜひ使いたい」といった声もあって、

うれしく思いました。

関谷 「現役学部生が立派に発表している」という評価も多く、学部生でも意義ある研究ができるという可能性を示せたと感じています。

— 研究テーマを深掘りして発表することは、学生にとってどのような意義があるのでしょうか?

関谷 研究活動では、構想力、文章力、抽象的思考力、PCスキル、デザイン力、プレゼン力など総合的な力が問われるため、多面的なスキルアップが図れると感じています。それは学生自身が最も自覚しているであろうポイントで、卒業研究をやり切った学生からは達成感や自信が見て取れます。



学会当日はA0サイズのポスターを掲示して発表。ゼミのメンバーがデザインを手伝うなど、協力体制で研究成果を形にした。

発表したポスターをwebでご覧いただけます。QRからぜひご覧ください。



る、研究の力”

嶋本 文菜さん

豊島区役所 教育部放課後対策課 児童指導

応用心理学部 健康・スポーツ心理学科 2024年3月卒業
(埼玉県立熊谷女子高等学校 出身)

部活やアルバイトの経験を通して、人間のメンタルや心理に興味を持つ。関谷ゼミに在籍中の4年次に、学部生ながら学会発表を経験。さらに卒業直後にも卒業研究の成果に関する学会発表を行っている。

卒業生

SHIMAMOTO AYANA

嶋本 取り組む前は「研究＝敷居が高く難しそう」と思っていました。ただ、部活やアルバイトなど身近な経験とも関連するテーマであったこと、関谷先生からのアドバイスがあったおかげでスムーズに進めることができました。ポスター発表は、自分のすぐそばで見られる・読まれることまで意識しなければいけないので苦戦しましたが、人前で話すことに慣れては度胸が付きましたね(笑)。

関谷 私はよく「高校まではお勉強、大学の意味は研究(法)を知ること」と言っています。勉強は既知の知識や情報を学ぶこと、研究は未知の事柄を調べること、という位置付けですが、世の中に出れば大半のことに正解はなく、未知の物事に日々向き合っていかなければなりません。研究活動を通じて、未知

の問いにしっかりと取り組む経験をすることは、何らかの形で今後の人生に役立つものであると信じています。

嶋本 卒業した今は豊島区役所の教育部放課後対策課に勤務し、学童クラブの子どもたちと接しています。コミュニケーションの取り方や傾聴の仕方、発達・障害・運動やスポーツの知識、自分自身のメンタルの保ち方など、大学での学びを生かせる職場です。感情労働を知ったことで、人と接している時の自分の状況を客観的に把握しやすくなったように思います。

関谷 嶋本さんが「研究は敷居が高い」と感じていたものの、「身近な経験も含めてさまざまな角度から追究した」と表現してくれましたが、研究とはまさにそういうもので、日常生活の中でも研究の

視点を使っている場面は多いです。市販のミネラルウォーターを飲み比べて自分に合うものを見つける、友人関係を円滑なものにする、仕事のやり方を工夫する——。これらは全て「研究」だと私は考えています。知らなかったことに触れ、知識の総量を増やし、その知識を活用しながら仮説を立てたり観察したりして、興味があることをより深く追究する。その過程は、自分自身で考えて答えを見つけていくという研究プロセスそのものであり、日常を少し面白くするコツでもあります。直接的ではなくとも、将来の仕事や人間形成に必ず役立っていると思います。



関谷先生の研究テーマも「感情労働」であることから、「お互いに知識を高め合うことができた」と振り返る。

Check!

今号22ページ『先生に聞く。—東京成徳の研究紹介—』では関谷先生の取り組む研究内容を詳しく紹介しています。こちらもぜひご覧ください。

NEWS 日本感情心理学会第32回大会で健康・スポーツ心理学科の卒業生 荒川玲音さんが若手優秀発表賞を受賞しました!

嶋本さんと同じく、日本感情心理学会で研究成果を発表した関谷ゼミの卒業生から、**荒川玲音さんが「若手優秀発表賞」に選出されました。**荒川さんの研究は「感謝」の感情に注目し、感謝の対象が身近な人々の場合と店員の場合とでは大きく異なることを心理学的に解明したものです。表彰式は来年度の日本感情心理学会の大会で行われます。受賞おめでとうございます!



学会に参加した関谷ゼミメンバー(右から2番目が荒川さん)

口頭発表中の荒川さん



発表題目

「あなたの『ありがとう』はワンコインで姿を変える —商業的サービスにおける顧客の感謝と負債感情の検討—」(荒川玲音・関谷大輝)

TOKYO SEITOKU FESTIVAL 2024



学内装飾に合わせた衣装でそろえた装飾担当の学生たち。桐友祭を楽しみつくした4人でした🍻

#東京成徳大学



このポップコーン🍿は青春の味がするね

#東京成徳大学高等学校(高等部)



ディズニーの名曲たちを披露♪「ワールド」をピアノでソロ演奏

#東京成徳大学



短大幼児教育科の課題研究発表。3つのゲーム🎮をクリアして、缶バッジGETだぜ🎉

#東京成徳短期大学



カフェテリアでは短大生が縁日を出店中🎊

#東京成徳短期大学



十条銀座商店街の公式キャラも来校🐼 商店街コラボの福引は

#東京成徳大学 #東京成徳

2024年度の学園祭も、各校大いに盛り上がりました！

学生たちがさまざまな趣向を凝らした学園祭の模様をお伝えします。



両日1日を締めくくったダンス部。かわいくてカッコよくて体育館は盛り上がりました😄

#東京成徳大学中学・高等学校(中高一貫部)



先輩たちから受験生へ贈られたさまざまなメッセージ📝が書き込

#東京成徳大学 #東京成徳





「ホールニュー
しました」



ター「キタニヤ」
大盛況でした！

短期大学



援ボードには、
まていました

短期大学



6つのバンドが出演した軽音楽部のステージに、
会場は熱狂

#東京成徳大学中学・高等学校(中高一貫部)



中学生が制作した本のポップを作品展示しま
した。どれも興味深い！

#東京成徳大学深谷中学校



明るく元気に全力笑顔のチアダンス部INFINITY
の素敵なパフォーマンス

#東京成徳大学深谷高等学校



Tokyo Seitoku University Tokyo Seitoku College

第58回

桐友祭

2024
10.26-27
SAT/SUN

東京成徳大学&東京成徳短期大学

今年のテーマは…

Rainbow



今年のテーマ「Rainbow」には、ご来場の方々と一緒にイベント
を作り上げたい、という学園祭スタッフの思いが込められました。
学生たちは今年も制限なく学園祭を開催できることに感謝し、長
い準備期間と学園祭運営に励みました。ステージ発表や模擬店、
展示発表などへの参加団体の学生たちからも熱気と笑顔が見られ
る2日間となりました。2日目のお昼にはメインイベントであるお笑
いライブを開催。吉本興業所属のEXIT、ネイチャーバーガー、ヘン
ダーソンの3組が登場し、学内外の観覧者でいっぱいとなった会場
を大いに盛り上げていただきました。

楽しい時間を過ごし、1年の中で最もにぎやかなキャンパスと
なった2024年の桐友祭。来年の開催が今から楽しみです。



1. パネルシアター公演、子どもたちが楽しめる
よう話しかける姿は「さすが先生の卵！」
2. アイドル研究会のパフォーマンスで
学内外のファンが大盛り上がり！
3. ファッションサークルのファッションショー。
きれいなドレスの学生モデルのポーズも決
まっていました

Tokyo Seitoku University High School

桐蔭祭

東京成徳大学高等学校(高等部)

2024
9.28-29
SAT/SUN

今年のテーマは…



笑顔はじける桐蔭祭

～青春短し楽しめ高校生～

高等部生徒たちの青春と努力の結晶ともいえる桐蔭祭を開催しました。これまでは、制限された中での開催でしたが、今年度は入場制限を解除し、多くのご来場者をお迎えすることができました。最高の文化祭を提供するべく、支えてくださった方々への感謝の気持ちを持ちながら、クラスやクラブ活動の仲間と一緒に真剣に取り組む姿や楽しく過ごす笑顔がたくさん見ることができました。



Tokyo Seitoku University
Junior&Senior High School



1. ホラーサバイバルゲームの映画🎬を題材にしたゲームでおもてなししました👻

2. 冷たいアイス🍧をどうぞ!

3. 天文部による本格的なプラネタリウム🌌毎回お客様でいっぱいの大盛況でした

令和6年度

桐蔭祭

2024
9.28-29
SAT/SUN

東京成徳大学中学・高等学校(中高一貫部)

今年のテーマは…

全員主役

普段の授業では学べないような大切なことを学ぶことができる、貴重な機会の文化祭。さまざまな生徒たちが、それぞれの多様な個性を響き合わせるように準備・運営に取り組み、生徒も卒業生もご来場の方も文化祭スタッフも、参加者全員が主役になれる文化祭を作り上げました。「全員主役」となって、一人ひとりが思い思いに楽しむことのできた2日間の文化祭となりました。

1. スピーチコンテストの発表の応援👏

私たちがついてるぞ!

2. VRで日本や世界の各地をご案内🌐 楽しい空の旅へ

3. 僕たちのアミューズメントパーク🎡に遊びに来てね!



Tokyo Seitoku University Fukaya High School

第60回

桐蔭祭

東京成徳大学深谷高等学校

2024
9.7-8
SAT/SUN

今年のテーマは…

青春をつかみ取れ!!
～笑顔輝け最高の桐蔭祭～

9月に入って間もない開催となり、猛暑日の2日間となった東京成徳大学深谷高校の桐蔭祭でした。

生徒たちは夏休み前から準備に取りかかり、生徒会をはじめ各クラスやクラブ活動、有志団体がそれぞれ工夫を凝らした企画が満載。多くのご来場の方に、青春の真っ只中にある生徒たちの笑顔とエネルギーを感じていただけた文化祭になったと感じています。



1. 4つのミニゲームを用意してご来場者をお迎えしました
2. 文化祭で開催された合唱祭で2年C組の生徒の皆さんが金賞🏆を受賞!
3. 吹奏楽部によるオータムコンサート🎷が開催されました



3



第12回

桐蔭祭

東京成徳大学深谷中学校

2024
11.16
SAT

12回目の東京成徳大学深谷中学の桐蔭祭は、生徒の保護者をご招待し「学習」「合唱」「展示」の3つの発表を行い、いずれもとても素晴らしい発表となりました。

中学1年生は初めての学習発表でしたが、全員個性的でとても良いプレゼンでした。2年生のオーストラリア修学旅行、3年生の中学校生活の振り返りもとても感動的な内容で、よくまとめられていました。日頃の学習成果を保護者の皆さまに直接お伝えすることもできたように思います。



1. 漢字を題材にした美術作品の展示。生徒の創造性あふれる作品が並びました🎨
2. 中1生は自分の興味あるもの、中2生はAUS修学旅行について、中3生は中学校生活を振り返る学習発表📝を行いました
3. 生徒たちそれぞれの個性あふれる研究発表のポスター展示📄

3

Tokyo Seitoku University
Fukaya Junior High School

東京成徳大学 国際学部

1年生がアメリカ、オーストラリア、韓国での海外留学に出発

2024年4月に入学した国際学科の1年生は前期の学修カリキュラムを無事に終え、8月から9月に各留学先に出発しました。留学先の内訳は、アメリカCascadia College4名、Green River College1名、オーストラリアDeakin University10名、Victoria University5名、韓国の慶熙大学12名、建国大学14名です。学生たちは語学力を向上させるだけでなく、各留学先での現地学生、留学生、ホストファミリーなどさまざまな人々との触れ合いを通じて多くのことを学び、成長することを期待しています。

国際学部長 芳賀 克彦



東京成徳大学 子ども学部



スウェーデン・フィンランドの保育・教育現場を間近で体感

9月28日～10月5日、子ども学部「子ども問題海外研修」科目の履修生21名が、世界的な教育先進地域また社会福祉国家として名高いスウェーデン・フィンランドにて研修を行いました。訪問した保育園・就学前学校・小学校では、視察だけでなく、子どもと森の中で遊んだり、折り紙を手渡すなど実際に触れ合いながら、現場を間近で体感しました。さらに、ストックホルム大学での講義やネウボラ（子育て支援施設）視察からも知見が広がり、履修生からは「生涯の宝物となりました」「新しい世界を知る楽しさを感じました」などの声があり、貴重な時間となりました。

子ども学部准教授 土屋 佳雅里

東京成徳大学 経営学部

みなかみ町での学外研修

経営学部では、10月30日から31日にかけて2年生の必修科目「基礎演習IV」にて、群馬県みなかみ町で学外研修を実施しました。初日は「SDGs未来都市」に選定され、また「ユネスコエコパーク」にも登録されている「みなかみ町」の政策をお聞きし、次にグループに分かれ、12の企業・団体を訪問しました。夜のワークショップでは、取材内容を取りまとめ、翌朝、発表会を行いました。学生はハードなスケジュールをこなした後、BBQと、地元の規格外食材を活用したクッキングコンテストを楽しむことができました。

副学長・経営学部長 村山 純



東京成徳大学

応用心理学部

臨床心理学科

4年生が学外でテーブルマナー研修を受講

9月3日に千葉県浦安市のディズニーアンバサダーホテルにて、4年生(2021年度入学)の学外研修を行いました。映像を見たりクイズに答えたりしながら、講師によるテーブルマナー研修を受講し、料理が振る舞われ食事をしながらの実践となりました。ビジネス、接待の会食で求められる会席作法を学びました。次にテーマパークに移動して、キャストの動きやゲストへの接し方を体験的に学びました。日頃は経験できないことばかりで、楽しく過ごせたという感想が大半でした。コロナ禍で制限の大きかった4年生ですが、卒業を半年後に控えて集まることができ、学生生活の思い出となりました。

応用心理学部長・臨床心理学科長 一谷 幸男



東京成徳大学

応用心理学部

健康・スポーツ心理学科



北区役所での学生のプレゼンの様子

地域貢献は健スポの“ミッション”です！

健康・スポーツ心理学科は開設(2009年)以来、学科のミッションとして「地域貢献」を掲げています。現在は、主として授業(「ウェルネス・ボランティア」「ウェルネス・プロジェクトII」)の一環として、本学が所在する北区内において学生がさまざまな地域貢献活動を行っています。学生は「子ども食堂」「地域スポーツクラブ」等のボランティアに参加したり、地域課題解決プロジェクトを企画・実施したりしています。今年度は「十条付近のゴミ拾い&衛生意識向上プロジェクト」「北区役所Instagram開設提案プロジェクト」など4つのプロジェクトが展開されました。

健康・スポーツ心理学科長 出雲 輝彦

東京成徳大学大学院

心理学研究科

二刀流の養成：研究もできるプロのコウンセラー

本学心理学研究科では、研究に基づいて科学的に考えることができ、かつまたプロとして通用するカウンセラーの養成を目指しています。つまりは研究もできると同時に、心理支援のプロの二刀流の養成というわけです。2024年度の修士論文のテーマをいくつか挙げると、『中学生の学習上のつまづき』『青年期の推し』『母親の育児の危機』『難聴者と健聴者のコミュニケーション』『僧侶による心理支援』『後期高齢者のウェルビーイング』などです。中学生から後期高齢者まで、勉強のつまづきの問題から推しや居場所まで多岐にわたるテーマの論文が仕上がるのを楽しみにしています。

心理学研究科長 茂呂 雄二



東京成徳短期大学 幼児教育科

初めての幼稚園教育実習

学生たちは実習に出るまでの半年間で実習日誌の記入方法、実践、専門分野などを学びます。しかし実習まであらゆる不安を訴えてきます。その際、最初にあいさつの大切さ、気持ちよくあいさつを交わすことにより信頼関係を確立する第一歩になることを伝えます。また、失敗を恐れずにチャレンジすること、そして疑問を持ったことは必ず先生に伝えること、素直に学ぶ姿勢を持つことを伝えています。先日巡回指導に行きましたが、明るく笑顔で子どもたちと接しており、生き生きとした表情が印象的でした。素敵な保育者になるために夢に向かう姿が頼もしく感じられ、教員として、よりよいサポートを行わなければと実感した場面でした。

幼児教育科教員 福山 多江子



東京成徳大学中学・高等学校

中高一貫部 令和6年度 中学スポーツ大会・高校球技大会



11月1日に赤羽体育館で中学スポーツ大会が、一貫部校舎では高校球技大会が開催されました。中学3年生は最上級生として学校行事をまとめる初めての機会でした。事前準備のために各休み時間に打ち合わせをしたり、道具の準備をしたりするなど、普段の学校生活ではできない経験ができたと思います。また、これらの経験を通して12月の合唱祭へとつながる有意義な場となりました。高校球技大会では体育館とグラウンドを使用して、生徒会と運動部が企画したタイムスケジュール通りに進行することができました。他学年との競技に観客も盛り上がり、熱い戦いが繰り広げられた一日でした。

生徒指導部課長 鈴木 佳大

東京成徳大学高等学校 高等部

高等部海外短期研修

2024年8月に語学学校研修と探究型研修の2つの研修を用意し、27名の生徒が参加しました。語学学校研修では、世界各地からの留学生と一緒にディスカッションや研究発表をすることで英語力を向上させました。また、友人との外出や課外活動への参加など、英語を使うことで、話すことへの抵抗がなくなりました。探究型研修では、ケアンズにてホームステイをしながら現地の高校に通い、授業にも参加しました。熱帯雨林を保護するための授業や、SDGsを実践している家庭への訪問など、自然との共存の仕方に触れることができました。どちらの研修でも違いを肌で感じる事ができ、大きな学びとなりました。

国際交流部教諭 越山 恵梨菜



東京成徳大学深谷中学・高等学校

中高一貫コース

ふるさと ふかや・渋沢学

11月12日(火)、郷土の偉人・渋沢栄一翁の「立志と忠恕」の精神を育み、持続可能な地域社会を創造していくための実践力を身に付けた心豊かな人材を育成することを目的とし、市内の小学生・中学生・高校生・大学生が深谷市民文化会館に集い、「ふるさと ふかや・渋沢学」フォーラムが開催されました。中学からは、理科部の生徒を中心に「科学と文化の融合」をテーマにした「キレイな藍玉スライムを作ろう!」の体験型ブースを出展しました。準備した500人分の材料があっという間になくなるほどの大盛況でした。ちなみに、高校は進学コース保育系の生徒が中心となって“栄一翁アート”や“輪投げチャレンジ”などの体験型ブースを出展し、こちらも大盛況でした。 中学第1学年主任 山下 太郎



東京成徳大学深谷高等学校

学校間交流



10月15日(火)、台湾の幼華高級中学校(日本の高等学校に相当)の生徒33名が来校し、本校生徒と交流を深めました。コロナ禍の影響もあって、台湾の高校生が来校するのは7年ぶりのことです。本校到着後、まずは歓迎のセレモニーを行いました。両校代表の先生・生徒のあいさつ、記念品の交換と進み、最後は本校吹奏楽部とチアダンス部のアトラクション、そして幼華高級中学校生徒のダンスで盛り上がりました。歓迎セレモニーの後には体験授業です。体験授業は午前が英語と理科実験、午後は華道と茶道の体験です。昼食は本校生徒との会話も弾み、交流を深めることができました。本校生徒のサポートを受け、和やかなひとときを過ごしました。 教務主任 高柳 賢三

成徳幼稚園

秋の作品展

11月16日(土)に幼稚園で作品展が開催されました。今年は保護者やご家族の方々に多数ご来園いただき、にぎやかに子どもたちの力作をご覧いただきました。今回のテーマは「オリンピック」です。夏のパリオリンピックでは日本選手が大活躍しましたが、幼稚園のグランドホールにもさまざまな競技会場が作られ、未来のオリンピック選手を夢見て制作した子どもたちの作品が並びました。2階の保育室には年長組の子どもたちが大判の画用紙に絵の具で描いたダイナミックな作品と、クレヨンや折り紙で表現した年中・年少組の作品を展示しました。どの作品も一人ひとりの個性があふれ、保護者の方々も子どもたちの成長を実感されたようです。 教頭 梶山 久美子





スポーツで培ってきた精神や経験を
社会で生かしながら、
自分自身を高めていく。

習志野市役所 健康福祉部
生活相談課 主任主事

金子 琢哉さん
KANEKO TAKUYA

東京成徳大学 応用心理学部 健康・スポーツ心理学科
2013年3月卒業

小学生からバスケットボールクラブに所属し、千葉県立幕張総合高校時代にはチームを初のインターハイに導く活躍で、国体メンバーにも選出。大学では男子バスケットボール部キャプテンとしてチームを牽引した。卒業後、一般財団法人千葉県まちづくり公社を経て、習志野市へ入庁。教育委員会生涯学習部で生涯大学校の事業運営を担当後、現在は健康福祉部生活相談課でケースワーカーとして生活保護業務に従事する。

バスケットボールを通じて芽生えた向上心。 第1期生として『健康・スポーツ心理学科』へ

小学校3年生でバスケットボールを始め、高校時代にはインターハイ出場と国体出場をかなえました。国体では準決勝まで勝ち上がり、現在日本代表として活躍している選手が所属するチームと対戦。惜しくも敗退したものの、全国の舞台に刺激を受け、大学でも競技を続けたいと考えていました。東京成徳大学バスケットボール部の監督である川北準人先生からお声がけいただいたことや、スポーツ関連の学びに関心があったことから、当時新設したばかりの応用心理学部 健康・スポーツ心理学科へ。自分たちは学科の1期生だったので、新鮮な気持ちで大学生活をスタートしたことを覚えています。

東京成徳大学のバスケットボール部「SEAHAWKS」は、強豪がひしめく関東大学リーグに所属し、リーグ昇格を目指して活動していました。キャプテンとなって上を目指したいという目標もあったのに、メンバーを外されてしまったことも。なんで自分が…と落ち込み、皆をまとめるところか、

一人になりたいと思う時期もありました。

そんな自分を支えてくれたのが、スポーツ心理学やメンタルトレーニング論、チームビルディングといった、健康・スポーツ心理学科の授業で得た知識でした。自分自身を俯瞰で見た時に、「この部分が足りていなかったのかもしれない」「アプローチ方法を変えてみよう」などと気づきがあり、自分を立て直すことができました。目標の1部リーグ昇格は果たせなかったものの、4年次には千葉ジェッツ（当時はbjリーグ）のエキシビジョンマッチで千葉県出身大学生選抜に選出され、今後もプレイヤーとして高みを目指したいという気持ちが高まっていきました。

卒業後は、地域住民の 健康維持・増進に関わる業務を担当

卒業後は千葉県内のクラブチームに所属しつつ、仕事では一般財団法人千葉県まちづくり公社の千葉県総合スポーツセンター職員として体育館や野球場等のスポーツ施設管理を担当し、その後習志野市に入庁しています。当初



東京成徳学園で学ぶ皆さんへメッセージ

「大学生活＝バスケ」というほど部活に没頭していた自分が、大学時代に取得した資格や学びを生かしながら公務員として働いているなんて、当時は全く想像できませんでした。在学中、先生には「部活を思いきりやりたいのなら、まず学業をがんばれ」と言われていましたが、社会に出るとその言葉が身に染みますね。

大学で共に汗を流していたチームメイトとは、今でも一緒にプレーすることも。OBとしてSEAHAWKSの活動も気になるので、大会の結果は定期的にチェックしています。大学時代に培ったものが今の自分に生かされていることは、やっぱりうれしいですね。

『自分らしく』

中高大とキャプテンを務め、現職でも部下を持つ立場になりました。無我夢中でしたが「キャプテンだからこうあるべき」「仕事ではこう振る舞うべき」と、いつも思い描く自分でありたいと努力してきました。これからも、理想の自分、そして自分らしさを追い求めています。



大学時代にチームメイトや先生たちと撮った集合写真。「苦しいこともあったけれど、日々の練習や試合、合宿などでたくさんの思い出があります。」

は教育委員会生涯学習部の社会教育課に配属されました。この時「習志野市民カレッジ」、いわゆる生涯大学の事業担当になり、生涯スポーツに関する講義を実施することに。真っ先に思い浮かんだのがバスケ部監督の川北先生でした。川北先生には卒業後も、バスケや仕事のことでよく相談に乗っていただいていた。講師の話を持ちかけたところ、快く引き受けてくださり、その講義は今でも継続して担当してくださっているそうです。ささやかですが、恩師とのつながりを感じている出来事です。

社会福祉の現場で生きる、健康・スポーツ心理学の学び

現在はケースワーカーとして生活保護業務を担当しています。ケースワーカーは社会福祉主事の資格が必要ですが、大学時代に単位を取得していたこともあり、今の健康福祉部生活相談課に配属されました。経済的に困窮している方の生活を保障し、面談や家庭訪問を実施しながら世帯の状況を個別に把握、自立を支援することが主な仕

事です。幅広い年齢層を対象とするため難しさもありますが、傾聴や肯定的関心といった心理学の学びがあったからこそ、寄り添いながらも伴走していく支援ができていると感じています。生活保護受給者の方がさまざまな課題を乗り越えて自立していく、その過程に携われることに大きなやりがいを感じます。

バスケットボールは、今でも週2～4日プレーしています。部活を通して、何かに夢中になることの楽しさや、人と関わることの喜びを学ぶことができたのは、自分にとって一生の財産となっています。



金子さんの職場である習志野市役所は2017年に庁舎が新設され、2018年度グッドデザイン賞を受賞。開放的な雰囲気が特徴で、一般利用できる飲食店や展望フロアがあり、市民の憩いの場にもなっている。

●東京成徳大学

男子バスケットボール部 BASKETBALL

第100回 関東大学バスケットボールリーグ戦
3部リーグ-3位(19勝3敗) / 2部・3部入替戦-3部残留(0勝2敗)

女子バスケットボール部 BASKETBALL

第74回 関東大学女子バスケットボールリーグ戦 4部リーグ(1勝6敗)

ダンス部 DANCE

第36回 全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸) 参加発表部門出場

●東京成徳大学高等学校 (都ベスト16以上)

男子バスケットボール部 BASKETBALL

令和6年度 東京都高等学校総合体育大会 ベスト16

女子バスケットボール部 BASKETBALL

令和6年度 東京都高等学校総合体育大会 準優勝 **全国**

令和6年度 東京都高等学校女子バスケットボール春季大会 準優勝 **関東**

第78回 関東高等学校女子バスケットボール選手権大会 ベスト8

令和6年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ2024) 出場

女子バレーボール部 VOLLEYBALL

第72回 東京私立中学高等学校男女バレーボール大会 ベスト16

令和6年度 東京都高等学校春季大会 13位

令和6年度 東京都高等学校総合体育大会 13位

女子ソフトボール部 SOFTBALL

令和6年度 東京都高等学校春季ソフトボール大会 ベスト16

バントワリング部 BATON TWIRLING

第44回 バントワリング東京都大会
コンテストの部 学校部門 高等学校 金賞 **関東**

男子テニス部 TENNIS

令和6年度 東京都高等学校総合体育大会 男子団体-ベスト16

バドミントン部 BADMINTON

令和6年度 東京都高等学校総合体育大会 東ブロック 男子団体-ベスト8

卓球部 TABLE TENNIS

令和6年度 東京都高等学校春季卓球大会 女子団体 Aクラス-6位

令和6年度 東京都高等学校総合体育大会 女子団体 Aクラス-ベスト8

水泳部 SWIMMING

令和6年度 東京都高等学校春季水泳競技大会
男子:100m背泳ぎ-8位(高1)
4x100mフリーリレー-8位(高2-3名、高3-1名)
女子:4x100mフリーリレー-9位(高2-2名、高3-2名)

令和6年度 東京都高等学校選手権水泳競技大会
男子:4x100mフリーリレー-12位(高2-3名、高3-1名)
4x100mメドレーリレー-10位(高1-1名、高2-1名、高3-2名)
女子:800m自由形-11位(高2)、13位(高2)
4x100mフリーリレー-11位(高2-2名、高3-2名)
4x200mフリーリレー-9位(高2-2名、高3-2名)
4x100mメドレーリレー-14位(高1-1名、高2-2名、高3-1名)

陸上競技部 TRACK AND FIELD

第77回 東京都高等学校陸上競技対校選手権大会
男子:やり投げ-7位(高3)
女子:ハンマー投げ-5位(高3) / やり投げ-7位(高3)
5000m競歩-6位(高2)

ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

第26回 関東女子中高生ラクロスリーグ戦(Teen's Cup 2024) 3位

弓道部 KYUDO

令和6年度 東京都個人選手権大会 男子個人-3位(高2) **関東**

令和6年度 東京都高等学校総合体育大会 男子個人-6位(高2)

第42回 関東高等学校弓道個人選手権選抜大会 男子個人-出場(高2)

書道部 CALLIGRAPHY

第58回 高野山競書大会 毎日新聞社賞(高2) / 審査委員長賞(高3)
協賛賞(高2) / 推薦(高3-2名) / 特選(6名)

演劇部 THEATRICS

令和6年度 城東地区朗読劇コンクール 最優秀賞

令和6年度 城東地区新人デビューフェスティバル最優秀賞(生徒審査賞第1位)

第11回 東京都高等学校短編演劇発表会 優良賞

●東京成徳大学深谷高等学校 (県ベスト16以上)

サッカー部 SOCCER

令和6年度 関東高等学校サッカー大会 埼玉県予選会 準優勝

第67回 関東高等学校サッカー大会 Bグループ 準優勝

令和6年度 埼玉県高等学校総合体育大会 ベスト16

パワーリフティング部 POWER LIFTING

第42回 全日本高等学校パワーリフティング選手権大会
女子:57kg級-優勝(高3) / 63kg級-3位(高3)

SUB-JUNIOR&JUNIOR WORLD POWERLIFTING 2024
女子:47kg級-9位(高2) / 57kg級-13位(高3)

弓道部 KYUDO

令和6年度 埼玉県高等学校総合体育大会 男子個人-優勝(高3) **全国**

令和6年度 全国高等学校総合体育大会(インターハイ2024)
男子個人-出場(高3)

卓球部 TABLE TENNIS

第74回 関東高等学校卓球大会 埼玉県予選会 男子学校対抗-ベスト16

令和6年度 埼玉県高等学校総合体育大会 男子シングルス-ベスト16(高3)

チアダンス部 CHEER DANCE

USA チアリーディング&ダンス学生新人大会 2024 EAST
高等学校編成 Song/Pom部門 Intermediate SmallA-4位

女子バドミントン部 BADMINTON

第70回 関東高等学校バドミントン選手権大会 埼玉県予選会
女子学校対抗-ベスト16

●東京成徳大学中学校 (都ベスト16以上)

女子バスケットボール部 BASKETBALL

令和6年度 東京都U-15バスケットボール選手権大会 ベスト8

水泳部 SWIMMING

令和6年度 東京都中学校総合体育大会
男子:100mバタフライ-6位(中3) **関東**
50m自由形-12位(中3)

令和6年度 関東中学校総合体育大会 男子100mバタフライ-2位(中3)

ラクロス部(中高女子ラクロス) LACROSSE

(東京成徳大学高等学校のラクロス部参照)

Student's Voice

今を輝く、東京成徳の学生たちの声をお届けします。

内定先

ANAエアポート
サービス株式会社



東京成徳大学
国際学部 国際学科 4年
高嶋 姫依さん

どんなお客様にも柔軟に対応できる グランドスタッフになりたい。

在学中はカナダへの留学のほか、留学先と日本でのボランティア活動、英語・中国語の語学検定、日本文化の再認識に日本茶検定、赤十字救急法救急員の資格取得など…「世界と地域をつなぐ場所で、日本の魅力を伝えたい」という夢をかなえるため、さまざまな活動に励んできました。

卒業後、社会に出てからも資格取得の勉強は続けて、どんな状況でもお客様皆さまに対応できるよう、さらに多くの知識を身に付けて成長していきたいです。



航空業界への夢と一緒に追いかけた仲間たちと、地域振興型のマラソン大会に出場しました！

内定先

株式会社DTS



東京成徳大学
経営学部 経営学科 4年
阿部 雄大さん

社会の困りごとを、主体的に 解決できるエンジニアを目指して。

就職活動の方向性に迷っていた時、ゼミの布川先生のアドバイスをきっかけにIT業界の道を志望しました。今後はITスキルを身に付けながら、自分が主体となってさまざまな業界の困りごとを解決していくエンジニアを目指して、励んでいきたいです。

就活は一人きりで突き進むと、どこかで迷ったりつまづいたりすることもあるので、ゼミの先生やキャリア支援課の方々と積極的にコミュニケーションを取って、客観的な意見を聞くことは大切だったと感じています。



バスケットボール部で4年間と共に過ごし切磋琢磨してきた仲間たちは、一生の宝物です。

内定先

埼玉県警察



東京成徳大学
応用心理学部 臨床心理学科 4年
石川 美優さん

警察官を支える事務職員として 地域の安全に貢献していきたい。

警察職員のことを調べていくうちに、事務職員も、犯罪に関する統計や遺失物拾得業務、免許証などの窓口、指紋の鑑識などとても幅広い業務に携わっていることを知りました。警察官と同じくらい大切な存在なんだと気づき、私も事務職員の立場から県の防犯や安全を守りたいと思うようになりました。

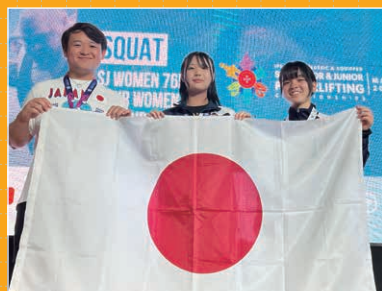
キャリア支援課の皆さんに公務員試験対策や面接練習など、何度も何度もお世話になりましたが、無事合格できました。母も泣いて喜んでくれたので、がんばって良かったです。



試験中に大切にしていた「晴れ桜」のお守りと、勉強の気分転換によく食べていたお菓子。

Pick up! 東京成徳大学深谷高校パワーリフティング部

世界サブジュニア・ジュニア パワーリフティング選手権大会に 女子2名が出場し、 種目別ベンチプレス2位を含む 総合9位と総合13位に！



2024年8月28日～9月8日に、マルタ共和国のセント・ポールズ・ベイで開催された世界サブジュニア・ジュニアパワーリフティング選手権大会に、東京成徳大学深谷高等学校から女子選手2名が出場しました。

出場した手嶋乙葉さん(高2)は女子47kg級の総合9位、種目別ベンチプレスで第2位の好成績を収め、種目別の表彰台に立ちました。また、女子57kg級の根岸暖華さん(高3)も同級総合13位となり、2名の生徒が世界大会で競い、結果を残しました。東京成徳大学深谷高校パワーリフティング部から、昨年に続き2年連続で世界大会へ出場。多くの生徒が高校からの競技経験でありながら、世界の大舞台にチャレンジし好成績を収めています。



47kg級 手嶋さんの
スクワットの試技

57kg級 根岸さんの
デッドリフトの試技

東京成徳大学深谷高等学校が 城西大学と包括連携協定を締結しました

教育および研究の分野で相互の密接な協力と連携により、双方の教育・研究事業の充実・発展に寄与することを目的に、2024年6月21日に包括連携協定を締結しました。これにより城西大学から本校独自の探究学習プログラム「SEITOKU探究」への支援、「DXハイスクール」指定校としてデジタル・理数・探究を推進する本校のDX分野への支援など、さまざまな連携が見込まれ、教育のさらなる充実と教職員の資質向上が期待されます。



応用心理学部 健康・スポーツ心理学科 小西瑞穂准教授が 学術研究報告会で優秀賞を受賞しました

「乳の学術連合・牛乳食育研究会」学術研究報告会で小西瑞穂准教授が優秀賞を受賞しました。2022年度に学術研究の助成を受け、牛乳アレルギー患者を対象に心因性牛乳アレルギーの予防・克服を目的としたオンライン版動画とワークブックからなるプログラムを開発。このプログラムが心因性牛乳アレルギーの予防・克服を促すとされ、社会的貢献度の高い独創的な研究に継続的に取り組んでいるとの評価により、受賞となりました。

東京成徳大学中学・高等学校は 3期目のApple Distinguished Schoolに認定されました

2018年の初認定から数え3期目の認定となりました。ADSでは先駆的なリーダーとそのコミュニティが指導や学習の中でインスピレーションを与え、想像力を伸ばし、良い影響を生み出すことに取り組み、学業面でも成果を挙げています。授業にテクノロジーを取り入れることで、生徒がリーダーとして学び、成長し、新たな可能性を見つけ、世界をさらに良くしようとする「Distinguished Learner(自律した学習者)」を育てる教育をADS認定校ならびにDXハイスクール指定校として実践してまいります。



東京成徳大学深谷中学・高等学校で、卒業生のパラアスリート 高桑早生さん(NTT東日本所属)による講演会が開催されました

11月13日の午後、パリ・パラリンピック女子走り幅跳びで5位入賞を果たした高桑早生さんに、母校でご講演いただきました。この講演会では中・高生徒会役員を中心に企画し、高桑さんの入賞を記念して実施したものです。生徒は高桑さんの話を真剣に聞き、講演終盤には複数の生徒から高桑さんに向けて質問が投げかけられるほどで、大変貴重な機会となりました。

学園人事 2024年(令和6年)5月～10月

採用

小川 緑	東京成徳大学	応用心理学部臨床心理学科助教
松尾 弘樹	東京成徳大学・東京成徳短期大学	キャンパスライフ支援課
千葉 菜緒	東京成徳大学・東京成徳短期大学	キャリア支援課
香取 航弥	東京成徳大学・東京成徳短期大学	入試広報課
飯田 真由	東京成徳大学中学・高等学校	事務部

退職

相蘇 英聡	東京成徳大学・東京成徳短期大学	キャリア支援課係長
-------	-----------------	-----------

訃報

中田 カヨ子先生(東京成徳短期大学名誉教授、元幼児教育科長)
令和6年10月24日ご逝去 享年87
ここに先生のご貢献、ご業績を偲び、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

表紙について

健康・スポーツ心理学科の先生と学生の対談を行いました。生活を見渡すと「ウェルネス」という言葉がよく見かけます。特に健康や医療の商品やサービス、社名にあると気付きますが、学生が言うには旅行や不動産もウェルネスに関連があるとのこと。はじめは「？」でしたが、よくよく考えるとウェルビーイング向上のために日々の生活で多角的にウェルネスが高まることは欠かせない、心と体が共に健康であることが大切との気付きもあった機会となりました。



東京成徳学園の先生は、日々専門の研究に取り組んでいます。
先生方に研究テーマと研究への思いを、お話しいただきました。

大学・短期大学HPにも各教員の紹介を掲載しています。
下記のQRからぜひご覧ください。



研究にはさまざまな方向性がありますが、私が志向するのは直接・間接を問わず、応用（あるいは社会実装）的な目的を視野に入れることができるテーマです。学生が自律的に何かに挑戦していく姿勢から、自身もエネルギーをもらっています。



日本観光研究学会機関誌『観光研究』34巻1号にて論文を発表（2022年9月発行）



2024年4月発行の日本心理学会機関誌『心理学ワールド』105号で特集記事を執筆

関谷 大輝 先生 SEKIYA daiki

東京成徳大学 応用心理学部
健康・スポーツ心理学科 准教授



紹介は
こちら

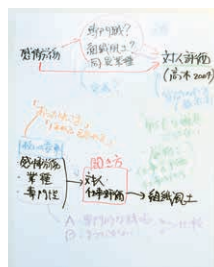
< 研究テーマ >

- 感情労働が労働者個人や組織に及ぼす諸影響に関する研究
- 温泉やサウナの課題や効果への心理学的見地からのアプローチ
- ツーリズムを取り巻く現代的課題の心理学的検討

メインの研究課題として職業ストレスやメンタルヘルス、職場風土といった産業領域全般の課題について「感情労働」の観点から心理学的に研究を進めています。

このほか、日本ではあまり重視されていない観光心理学分野に関する諸課題について、趣味である温泉やサウナ浴とも絡めながら、客観的なエビデンスの蓄積を目指しています。

学生との共同研究のディスカッション
内容は、研究室の一角にメモしている



今号7ページの特集2では、関谷大輝先生と卒業生の対談企画を掲載しています。こちらもぜひご覧ください。



卒業生をつなぐオンラインコミュニティ 東京成徳 NETWORKを開設しました

2026年の学園創立100周年記念事業の一環として、大学・短大・高校の卒業生同士や、卒業生と教職員・在学生をつなぎ、それぞれが交流できる卒業生オンラインコミュニティ『東京成徳 NETWORK (TS-network)』を開設しました。

『オール東京成徳』としての連携と絆をさらに深め、東京成徳学園のプレゼンス強化と教育内容の充実に取り組むためにも、多くの卒業生からのご参加をお待ちしています。

詳細は
こちら



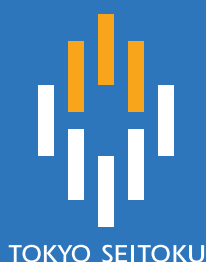
未来へつなぐメモリアルフォトアート メッセージと写真を募集中！



学園創立100周年を記念して、在学生や卒業生、保護者の方、学校関係者の皆さまからのメッセージと写真を募集しています。お寄せいただいたメッセージ・写真は100周年特設サイトで公開され、写真はフォトモザイクアートとして100周年を記念するさまざまな媒体で展開予定です。

東京成徳での思い出や感謝の気持ちなどのメッセージを添えて特別な1枚を投稿して、思い出深い瞬間を共有しましょう！

詳細は
こちら

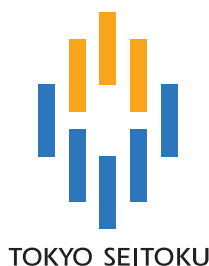


私たちは約束します。

ブランド・ステートメント

多様性の中で共生し、
新たな自分を発見するとともに、
自らの信念をもって
未来をデザインする人材を育成します。

グローバル化が加速する現代社会では、人種や国籍、宗教、性別、価値観などの多様性を受け入れ、必要な助け合いをしながら生きていく共生を、学問や経験を通して学ぶことが大切です。この学びや経験を通じて、これまでの殻を打ち破る新しい自分の使命や役割を探り当て、確固たる自分自身の信念のもと、自分の未来、自分たちの社会の未来を描き、切り拓いていく人材を、東京成徳では育成します。



TOKYO SEITOKU

学校法人 東京成徳学園

www.tokyoseitoku.ac.jp



学校法人東京成徳学園は
2026年に創立100周年を迎えます

- 東京成徳大学
- 東京成徳大学大学院
- 東京成徳短期大学

東京キャンパス(十条) 東京都北区十条台1-7-13

TEL 03-3908-4530 URL www.tsu.ac.jp

- 東京成徳大学中学・高等学校

中高一貫部 東京都北区豊島8-26-9

TEL 03-3911-2786 URL www.tokyoseitoku.jp/js/

高等部 東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3911-5196 URL www.tokyoseitoku.jp/hs/

- 東京成徳大学深谷中学・高等学校

埼玉県深谷市宿根559

TEL (中学) 048-573-1784 URL (中学) www.tsfh.jp/top

(高校) 048-571-1303 (高校) www.tsfh.jp

- 成徳幼稚園

東京都北区豊島8-24-2

TEL 03-3911-6337 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/t-kind/

- 東京成徳スイミングスクール

東京都北区王子6-7-14

TEL 03-3914-2383 URL www.tokyoseitoku.ac.jp/swimming/

東京成徳学園後援会のご案内

東京成徳学園の使命達成のため、オール東京成徳で尽力しようと幼稚園から大学院まで学園全体の後援組織として、ご賛同いただく会員を募り組織した後援会です。趣旨をご理解いただき、ぜひご参加ください。

東京成徳学園後援会 目的および事業

(東京成徳学園後援会会則より)

本会は会員相互の親睦を図り、併せて学園の発展に寄与することを目的とし、次の事業を立案実施する。

1. 学園行事への参加協力。
2. 在学生の研究活動、部活動の助成。
3. 卒業生進路への協力。
4. 会員の親睦会、研修会の開催。

入会に関するお問い合わせ

TEL 03-3911-5196 担当 大橋、遠藤(事務)

読者アンケートのお願い

「TOKYO SEITOKU NOW」をご覧いただき、誠にありがとうございます。今後の発行に向け、よりよい紙面作りをするために、皆さまの感想をぜひお聞かせください。ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

※お寄せいただいた個人情報、今後の広報誌作成の参考に利用するものであり、それ以外の目的で使用するものではありません。



QRからご回答いただけます。



@tokyoseitokuPR



@tokyoseitokuPR



@tokyoseitokupr

